



札幌市内各所から眺められるお馴染みの山だが、歩いても楽しい。  
市街地を眺めながらの縦走が楽しい、特に三角山から大倉山までは訪れる市民も多く踏み跡もしっかりしており、スノーハイキング初心者にもお薦めできる人気のコースである。



奥三角山（左）大倉山（中央）三角山（右）

1/25000 地形図 札幌

さんかくやま 311m  
おくさんかくやま 354m  
**三角山 奥三角山 縦走**

一八〇万都市の眺望を楽しむポピュラーな縦走路



登山口から登山開始

登山口には大きな案内板があり、二〇〇一年に清潔なトイレが設置された。冬も使用できる。  
三角山山頂までは一・四キロの夏道をたどる。一の坂から十の坂までの標識のほか、要所に案内板もある。積雪期も踏み跡はしっかりついていることが多く、大雪の後でなければ大抵は

- **マイカー情報**  
緑ヶ丘療育園前には数台の駐車スペースがある。
- **ガイド**
- **交通**  
地下鉄東西線の西28丁目駅から市バス宮の森環状線に乗り換え、山の手4条11丁目下車

山  
上り 二時間  
下り 一時間三十分  
（三角山山頂を通らずにコル経由で下山する場合一時間十分）

■ **コースタイム**  
緑花会登山口 0・0  
0・25 ↓ 大倉山 0・30 ↑ 三角山 ↓  
0・30 ↑ 奥三角山 ↓

緑花会コース

○ ○ × ×

**中級**



三角山の頂上からは札幌の街と周囲の山が一望できる



大倉山の稜線から見る手稲山は雄大だ



大倉ジャンツェの展望台の後ろに奥三角山

ツボ足で歩ける。

登山口から十分ほどで広い平坦地のこぶし平に着く。春はコブシの花が美しいところだ。夏道どおりに登り、尾根に出るとあずま屋のある大倉山への縦走路の分岐点で、左手を巻いて登ると三角山の山頂だ。

札幌の街づくりの原点となった一等三角点のある山頂からは、天氣がよければヒンネシリ、芦別岳、夕張岳、恵庭岳なども望める。元旦には、御来光を拝む登山者で賑わう。

三角山から大倉山への縦走は、あずま屋の分岐から始まる。まずコルへの急斜面を慎重に下る。西区と中央区の境界となる尾根を進むと大倉山ジャンプ競技場上の展望台に着く。トイレがあり、麓の札幌ウインタース

ポーツミュージアムへ下山することもできる。

奥三角山とのコルへ向かって尾根を下り、割れ目状の地形を左に見て先へ進むと自然歩道の看板があり、ここから奥三角山の急斜面に取り付く。直登を避けて山頂の少し右手を指して登り、稜線に出たら東に進めば奥三角山の頂上は近い。樹木は多いが市街地側は開けており、円山や神社山が見える。

帰路は同じコースを戻すが、視界が悪く足跡が消えている場合は、大倉山から三角山へ戻る際に進路が右へ折れることを忘れずに。案内板のあるコルからは、三角山を登らずにこぶし平へ下る哲学の道を使うと近道だ。

牧 慎太郎@転勤族の百山紀行